

●あげおヒューマンライツミーティング 21

「世界でおこっている人権問題

～命の重さ、自由の重さ～ 」

講師として、アフリカ ザンビア共和国の中学で青年海外協力隊員の理数科教師として活動した経験を持ち、帰国後は JICA や埼玉県国際交流協会でも国際協力や多文化共生を担当している大西孝規さんをお迎えしました。世界では、特にアフリカでは子どもの人権をおびやかす問題が、今も数多くみられます。ザンビアでは国家予算の 8 割が海外からの援助であったり、中学校へは子どもの 10 人に 1 人しか行けないなどの現実があります。母語ではなく公用語の英語でしか教育を受けられないので、英語がわからない子どもは教育の機会を奪われてしまいます。数十年前、日本が世界銀行から借金をして東京オリンピックを開催した頃、銅の採掘により世界の大金持ち国であったというザンビアが、その後、一気に最貧国となったのは何故なのでしょう。そして、今、多くのボランティアがザンビアに教師として赴任していますが、それには人道的な面と経済的な関係もおおいにあるとの話がありました。

小規模な分科会であったので、質問もしながらゆっくり落ち着いて話が聞けました。ビデオでザンビアの学校での様子を見ることができ様子がよくわかりました。